

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	はこだてしんそとかんじょう 函館新外環状道路（一般国道278号） くうこう 空港道路		事業 区分	一般国道	事業 主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	はこだて ききょう 自：北海道函館市桔梗町 はこだて かみゆのかわ 至：北海道函館市上湯川町		延長	10.0 km		
事業概要	函館新外環状道路は、道央圏と道南圏を結ぶ北海道縦貫自動車道、函館新道及び函館江差自動車道と一体となって道南地域の高速交通ネットワークを形成する、延長15 kmの地域高規格道路である。このうち、空港道路は、函館IC～空港ICに至る延長10 kmの区間で、函館市内の交通混雑の緩和、函館空港へのアクセス向上、各種プロジェクト支援等により地域の活性化に大きく寄与する重要な路線である。					
H - 年度事業化	H - 年度都市計画決定		H - 年度用地着手	H - 年度工事着手		
全体事業費	約377億円		事業進捗率	0%	供用済延長	0.0 km
計画交通量	19,600台/日					
費用対効果 分析結果	B / C	総費用	総便益	基準年		
	(事業全体) 3.4	(残事業)/(事業全体) 310/310億円 (事業費：288/288億円 維持管理費：22/22億円)	(残事業)/(事業全体) 1,048/1,048億円 (走行時間短縮便益：854/854億円 走行費用減少便益：121/121億円 交通事故減少便益：73/73億円)	平成17年		
感度分析の結果	事業全体について感度分析を実施					
	交通量変動：B/C=3.7(交通量+10%)		B/C=3.0(交通量-10%)			
	事業費変動：B/C=3.1(事業費+10%)		B/C=3.7(事業費-10%)			
	事業期間変動：B/C=3.1(事業期間+20%)		B/C=3.6(事業期間-20%)			
事業の効果等	・円滑なモビリティの確保（渋滞の緩和、空港へのアクセス向上が見込まれる） ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） ・物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる） ・都市の再生（広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する）					
関係する地方公共団体等の意見	他9項目に該当					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成16年12月に、函館市・戸井町・恵山町・榎法華村・南茅部町の5市町村が合併し、新『函館市』が誕生した。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成13年度に、新規着工準備区間となり、事業実施に向けて、構造規格を第3種第1級から第1種第3級に変更する都市計画変更と環境アセスメント等の手続きを進めている。（都市計画変更は平成18年度予定）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代後半の事業完了を予定している。					
施設の構造や工法の変更等	空港道路は完成4車線で計画されているが、暫定2車線供用による初期投資の軽減、早期効果発現等のコスト縮減対策に取り組んでいる。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。